

国立大学法人富山大学学術研究部芸術文化学系教員（金工（鋳金））公募

1. 募集人員 助教1名（任期5年，再任なし）
2. 所属 学術研究部芸術文化学系
3. 担当学部等 芸術文化学部芸術文化学科
4. 専門分野 金工（鋳金）
5. 担当授業科目 (1) 専門教育科目
  - ・ 専門教育科目への導入となる科目
  - ・ 工芸基礎実習（金工）、工芸実習（金工）A・C・E等
 (2) 教養教育科目
  - ・ 専門分野に応じた科目
 ※将来，担当授業科目に変更が生じる可能性があります。
6. 採用予定年月日 令和7年10月1日以降のできるだけ早い時期
7. 応募資格 (1) 修士の学位を有する者，若しくはそれと同等の研究または実務業績を有する者。  
 (2) 金工（鋳金）分野における制作・発表実績を有する者。  
 (3) 専門分野における著述文等の研究業績を有することが望ましい。  
 (4) 科学研究費補助金等外部資金の獲得に意欲がある者。  
 (5) 英語で授業ができることが望ましい。  
 (6) 母語・国籍は問わないが，日本語が母語でない場合，担当授業及び学内業務に支障のない日本語能力を有する者。  
 (7) 地域貢献活動等，全学的活動に積極的に寄与でき，また，学部等の円滑な運営に協力できる者。  
 (8) 入試業務等に携わる意思があること。  
 (9) 教養教育に貢献できること。  
 (10) 外国人留学生の教育に熱意のある者。  
 (11) 採用後は通勤圏内に居住し，本学業務に専念できる者。

8. 応募書類

- (1) 履歴書（写真貼付）（様式1）
- (2) 教育研究業績書（金工（鋳金））（様式2）
  - ア 教育上の能力，職務上の実績及び研究業績について，発表年月日の古い順に記載すること。

なお，研究業績については，著書，学術論文，制作・展示・作品発表，口頭発表及びその他の研究業績に分類し記載すること。

また，学術論文については，応募者が「責任著者」である場合は，以下の例のとおり応募者の氏名の右に「（\*責任著者）」と記すこと。

例

（立山太郎氏が応募者の場合）

著書，学術論文，作品等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月（西暦）	発行所，発表雑誌等又は発表学会等の名称（査読付き論文には，（査読有）と記す）	概要 （200字程度）
（学術論文） <論文名>	共著	2023. ○	<発表雑誌名称等>○	薬師由美，鋤崎健二，立山太郎（*責任著者）

				任著者) , 神通健 二, 大日正 (論文概要) ○○○ ○○○○○
--	--	--	--	---

イ 記載した研究業績について、本人の業績であることを証明できるよう、次の資料のデータを付けること。

- a 著書：単著は、表紙、目次、奥付。共著は左記に加えて担当箇所の最初と最後のページ。
- b 学術論文：最初と最後のページ。（査読付き原著論文、査読のない原著論文、総説、修士論文等に分けること）
- c 制作・展示・作品発表：展覧会等の広報印刷物、図録、評価・紹介記事等のコピー。（制作作品の発表年月日、会場、主催者、展覧会等の名称、発表作品名、材質・技法、サイズ等の内容がわかる資料であること）
- d 口頭発表：発表者、発表題目、発表年月日、発表機関名等、開催地、発表形式（オーラル・ポスター）がわかる資料。
- e 共著・分担執筆、共同発表については、本人の担当部分を明記すること。
- f 著書・論文等で発行予定の場合は、証明書を添付すること。

ウ 研究業績のうち、制作・展示・作品発表については、別途、ポートフォリオを作成すること。

エ 全ての研究業績のうち、代表的なもの5点に○印をつけること。（「著書、学術論文等の名称」欄に記載した業績名称の前に○印をつけること。）

- (3) 科学研究費獲得状況一覧（様式3）
- (4) 外部資金等（科学研究費を除く）獲得状況一覧（様式4）
- (5) 社会的な活動状況（所属学会・役員、地域貢献等を記したもの）（様式5）
- (6) 採用後の教育及び研究に対する抱負（金工（鋳金））（様式6）  
（それぞれ1,500字程度。地域社会と連携した取り組みについても言及すること）
- (7) 応募者の業績・人物について、照会できる方1名の職業・氏名及び連絡先  
（様式7）

※応募書類（様式1から様式7）は、富山大学ホームページ（教職員採用）からダウンロードして使用してください。

[URL] <https://www.u-toyama.ac.jp/outline/other-info/employ/>

※応募書類（ポートフォリオ含む）は、全てA4判用紙で作成してください。

※応募書類に含まれる個人情報、選考及び採用以外の目的には使用しません。

※応募書類に映像資料が含まれる場合は、応募申出時にその旨をお申し出ください。提出方法を別途ご案内いたします。

9. 公募期限 【応募申出期限】 令和7年4月15日（火）17時

【応募書類アップロード期限】 令和7年4月22日（火）17時

※状況により、公募期限を延長する可能性もあります。

10. 選考方法

第1次選考：書類選考、第2次選考：面接及び模擬授業

（第2次選考は、第1次選考通過者に対し、令和7年5月までに実施する予定です。）

※選考結果については、後日通知いたします。

11. 応募方法 応募を希望する方は、「9. 公募期限【応募申出期限】」(フォーム QR コード)までに、以下のフォームに、①応募者氏名、②連絡先電話番号、③連絡先メールアドレスの3点を入力してください。

<https://forms.office.com/r/FREaFUs2Ez>

担当者が入力内容を確認し、3営業日以内に応募書類のアップロード方法について返信しますので、「9. 公募期限【応募書類アップロード期限】」までに応募書類一式をアップロードしてください。



※送信後3営業日以内に返信がない場合は、必ずお問い合わせください。

※「9. 公募期限【応募書類アップロード期限】」までに応募書類を複数回アップロードした場合は、最新の日付のものを有効とします。また、「9. 公募期限【応募書類アップロード期限】」までに応募書類が1回もアップロードされなかった場合は、応募は無効となります。

12. 問い合わせ先【公募内容及び応募書類送付に関すること】

国立大学法人富山大学 人社芸術系事務部 芸術系総務・学務課 (総務担当)

TEL : 0766-25-9191, FAX : 0766-25-9104

e-mail : [soumukan@adm.u-toyama.ac.jp](mailto:soumukan@adm.u-toyama.ac.jp)

【給与等に関すること】

国立大学法人富山大学 総務部人事課

TEL : 076-445-6524

※問い合わせの際は、「芸術文化学系教員(金工(鑄金))公募」に関する旨を、明らかにしてください。

13. 待遇等 (1)労働条件については、本学職員就業規則によることとします。  
(2)給与は、学歴・職務経験等を考慮して決定されます。  
(3)本学では年俸制(退職時に退職手当を支給する年俸制)を導入しており、本公募による採用者はこの年俸制を適用します。
14. その他 (1)第2次選考(面接及び模擬授業)に係る経費(旅費・宿泊費・通信費等)は、応募者の自己負担となります。  
(2)必要に応じて、別途資料の提出を求めることがあります。  
(3)選考経過及び結果に関する問い合わせにはお答えいたしません。

○若手教員比率を向上させるため若手研究者の積極的な応募を歓迎します。

○富山大学では、多様な人材の積極的な応募を歓迎します。

富山大学ダイバーシティ推進宣言に基づき、全学的に女性研究者を含め多様な人材が活躍できるよう、教育・研究活動と生活の両立支援、男女共同参画の推進に積極的に取り組んでいます。

男女共同参画推進やダイバーシティの取り組みは以下 URL をご覧下さい。

[ダイバーシティ推進センター]

<http://www3.u-toyama.ac.jp/danjo/>

[富山大学ダイバーシティ推進宣言]

<https://www.u-toyama.ac.jp/outline/other-info/gender-equal/>